

シリーズ

遺伝子組み換え食品とは？

帯刀益夫（東北大学名誉教授）

第7回 遺伝子組み換え作物をつくる

これまで述べてきたように、現代のイネやコムギなどの作物種は、人類が1万年もかけて、野生種から望ましい遺伝子変異をもった作物種を選別してきたことを理解していただけたと思います。

それは、文字もなかった時代から世代を超えて情報が伝わり、営々とした努力の結果として出来上がったもので、現代のわれわれは、その恩恵に浴しているのです。

作物種は遺伝子の変化を伴ったものであり、作物種の品種改良は、自然におきた遺伝子変異を持つものを人為的に選択して交配を重ねてきた結果なのです。また、現代の育種学では、人工的に遺伝子の突然変異率を上げて、目的にかなうようなものの頻度を上

げる工夫も進んできていますが、従来の品種改良法では、人が欲しいと願うような新しい品種を望んでも、遺伝子変異がおきるのを待っているのでは、いつ目的がかなえられるのかわかりません。

遺伝子の研究が進み、望ましい表現型の原因となる遺伝子が分かるようになれば、これを人為的に改変して目的にかなう品種を作ろうという目的志向的な品種改良が視野に入ってきます。

「遺伝子組み換え」技術

そのような技術的な進歩の一つが「遺伝子組み換え」技術です。遺伝子組み換え技術は、目的とする遺伝子を分別して増やしてクローニングし、その遺伝情報を解読し、また、発現してたんぱく質を

産生する方法です。この手法では、たとえば、ヒトのインスリン遺伝子をプラスミドDNAとつないで、大腸菌に導入し、インスリンたんぱく質をたくさん作ることができす。こうした技術は、わずしか存在しない生理的に重要なタンパク質をたくさん生産し、薬として使う道を開き、インスリン、インターフェロンや抗体医薬などたくさんのバイオ医薬品が作られています。

「遺伝子改変動物」

この手法では、生物種間を超えて、遺伝子のやり取りが可能で、この手法はさらに大きく広がり、マウスにヒトの遺伝子を導入して、ヒトのタンパク質を産生して新しい特性を付与すること（トランスジェニックマウス）、逆に遺伝子を無くしてその生理機能を失わせて病気の原因を探る（ターゲッティングマウス）研究も可能になりました。また、初期胚を操作する方法も組み合わせ、ウシや

ブタ、ヤギ、ヒツジなどの家畜でも新たな遺伝子を導入した家畜ができます。

「遺伝子組み換え作物」 Ⅱ「GM作物」

同じ手法で、植物に遺伝子を導入すれば、植物の特性を部分的に変えることもできるので、遺伝子組み換え作物の作製が具体化されるようになったのです。

ここで「遺伝子組み換え作物」という名称について触れておきます。日本では、「遺伝子組み換え作物」や「遺伝子組み換え食品」という呼び方が慣例になっていますが、欧米では、GM作物、GM食

品と呼ぶのが通例です。GMはGenetically Modifiedの略称で、「遺伝的に修正を加えた」という意味になり、日本の「遺伝子組み換え」は[gene recombinant]で、技術を基にした表現ですが、欧米の表現は概念的な表現法をとっています。

「遺伝的修正を加えた」という表現は、これまでの品種改良で作った作物種も特定の遺伝子の変異を伴っているもので、概念的には共通性があります。

そこで、今後は、「GM作物」と表現して、詳しく解説してゆきます。

日本共産党池田ファンクラブ 総会・新年会

日時 1月24日（日）
午前10時～午後2時
場所 池田町福祉会館（1丁目）
会費 800円
議題 ・前年の活動報告と会計報告
・2016年活動方針と予算承認

総会に引き続き、新年会を行います。
歌やゲームなど楽しい企画をお楽しみください。

（一品持ち寄り歓迎です）

お申し込みは、議員またはファンクラブ役員までお願いいたします。

部内資料

発行責任者 太田 勲 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)
編集責任者 山本 久子 (61-1066)

170号
2015年12月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな～れ



大型看板を設置

一年をかえりみて

ファンクラブ会長

太田 勲

激動の2015年も大詰めとなってきました。FCニュース読者の皆さまには、町議選や安保法案をめぐる反対運動、憲法9条を守る活動等において、大変大きな御協力・お力添えをいただきました。心から感謝申し上げます。

今年をふり返ると「安保法案」の強行採決での成立、TPPの大筋合意、特定秘密保護法の施行など、どれをとっても戦後70年の国の在り方を根本的に変えてしまう大問題

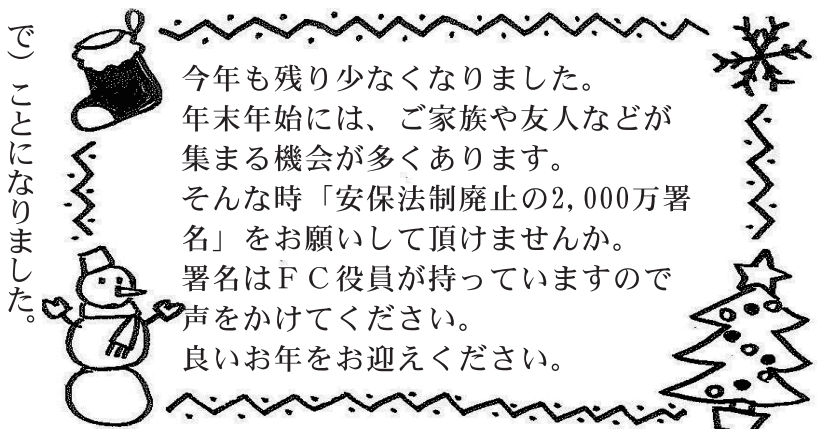
が相次いだ、歴史的な一年となりました。

とりわけ「安保法案」につ

いては、6月に「安保法案に反対する町民の会」（以下町民の会）が結成され、多数の町民が結集し「学習決起集会」や署名活動、新聞折り込みチラシによる全戸への訴え、軽トラックを連ねての平和パレード、大看板を設置し反対を訴えるなど、多種多様な反対運動を展開しました。

法案は、9月19日自公政権により成立させられましたが、今後は戦争法（安保法制）を廃止する運動をいっそう大きく展開していきます。「戦争法」を廃止するため、日本共産党は国民連合政府の樹立を提唱し、すべての野党、団体、個人に協力、結集を呼びかけました。「総がかり実行委員会」が2000万署名を呼びかけ、共産党は1000万署名を決定しました。

これに呼応して「町民の会」では2000名の署名を目標に運動を進める（4月25日ま



今年も残り少なくなりました。年末年始には、ご家族や友人などが集まる機会が多くあります。そんな時「安保法制廃止の2,000万署名」をお願いして頂けませんか。署名はFC役員が持っていますので声をかけてください。良いお年をお迎えください。

で）ことになりました。

安倍政権によって、立憲主義、法治主義、民主主義、平和主義が破壊され、独裁政治が強まっています。暗黒黒政治、軍国主義を許さないため、頑張ります。

4月の町議選は、無投票で、服部久子、薄井孝彦両氏が当選しました。公約や要求実現に力を尽くしていきます。

最後に、来年が良い年でありますよう、祈念申し上げます。

つらみ有明

最近町の財政執行で釈然としなことが続いている。池工の数百メートル南にスーパ―「ツルヤ」が進出することに決まり、それに伴い町道を拡張するため、5500万円を補正予算で支出するという。「ツルヤ」は採算が合うから出店するのであり、普通自前で土地を買い、建物・駐車場・道路を造るのではない。地区からの生活道路修復要請がなかなか実現しないのに、一企業のため多額の財政を支出するのは納得できない。▼（株）黒田精工の工場増設への600万円、松本山雅への300万円も補正予算で認めたと報じられたが、どうも内容が良く分からない。数百万円かけてハープセンターに足湯が作られた。しかし町民利用はどうだろう、役に立っているのだろうか。▼アップランド跡地東側は、商業エリアとして活用する方針で検討委員会が開催中だが、松本信用金庫の移転が決まったとの事。跡地は交流センター、図書館、町民の買い物・集いの場として確保されていたはずだ。▼いずれにしても町民には結果を知らされるだけ。説明が徹底的に不足している。